

教材シート

教科領域 自立活動

   	備品教材名 ローリングカー
使用方法（事例） ・＜凸面の利用＞腹臥位，座位，四つ這い位で乗る。指導者が回転や紐で引っ張るなどの動きをさせることで，前庭感覚刺激を与え，頭部，体幹の立ち直り反応，上肢の保護伸展反応を呼び起こす。 ・＜凹面の利用＞他動，自動で動かすことにより，立ち直り反応，保護伸展反応を促し，バランス感覚を育てる。前庭感覚刺激を受け，脳の活性化を促す。 ・絶えず，言葉をかけながら行い，不安を取り除くことや言葉と動きの対応を図ることができる。	
備考（シート作成にあたって参考にした文献，HP のアドレス等） うれしの特別支援学校 自立活動部 遊具・教具等マニュアル http://www3.saga-ed.jp/school/edq10047/img/h20jiritu8 講座重度重複障害児（者）の感覚運動指導第1巻①基礎・応用編 第7章週に身体図式のための遊具活用基本的な考え方第4節ローリングカーP.173	
保管場所：運動指導室 壁側大棚	使用上の留意点 ・市販品は，長さ約 130 cm，幅約 80 cm，高さ約 20 cmである。回転や揺れ等で子どもが飛び出さないようにする必要がある。体位がとれない場合，子どもをひざの上に抱えるようにして乗る。または，タオルなどで身体が動かないようにする必要がある。小さな回転などの動きから行い，安全確保と子どもの表情や他の反応を見ながら行う。 ・指導者は 2 人で行う。一人は子どもを支え，またもう一人は，本教具を扱いながら，子どもの反応を観察する。 ・絶えず言葉をかけながら子どもの不安を取り除く。 作成日：平成 21 年 8 月 24 日 改定日① ② ③